



旭ヶ丘小だより

令和7年 4月11日発行 No.1

明 朗
【あかるく】

誠 実
【さわやかに】

友 情
【ひとりひとりをたいせつに】



4月から旭ヶ丘小学校 校長として赴任いたしました植村 貢（うえむら みつぎ）です。令和元年度～令和3年度の3年間、教頭として旭ヶ丘小学校に勤務していました。始業式の日、5、6年生の子たちが「あっ、教頭先生や！」と声をかけてくれました。また、地域の方や保護者の方にも「帰ってこられたんですね」と声をかけていただき、胸が温かくなりました。校長として微力ではありますが、子どもたちが「楽しい」と思える学校づくりを、職員とともに励んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 学校教育目標

『考える力・伝える力・繋げる力を身に付け、命を大切にする子供の育成』
～ 明日も行きたくなる「笑学校」 ～

今年度の児童数（令和7年4月1日（現在） 合計539名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	39	44	45	59	47	78	312
女子	21	43	35	46	37	45	227
合計	60	87	80	105	84	123	539

～ 1学期始業式にこんな話をしました ～

1学期始業式に、頑張してほしいことを2つ、考えてほしいことを1つ話しました。

【頑張してほしいこと 要約】

①笑顔大切にしてほしい

優しくしてもらった時や出来なかったことが出来るようになった時などの、素敵な笑顔をたくさんしてほしい、そして周りの人を笑顔にさせる人になってほしいと思います。ただ、人は悲しい時や辛い時にも笑顔になれる。そんな「さみしい笑顔」に気付ける人になってほしい。そして元気づけられる人になってほしいと思います。

②「Just do it」を心がけてほしい

担任時にクラスの子に言っていた言葉「Just do it」。とにかくやってみようという意味で伝えていました。何もしなくても1年という時間は過ぎていきます。せつかくの1年間を何もしないのはもったいない。1つでも「何か」をやってみてこの1年を素敵な時間にしてほしいと思います。

【考えてほしいこと 一部省略】

春休みに学校や公園で財布や携帯電話、かばんがなくなるということがありました。自分の物がなくなったらどんな思いになりますか？もしかばんがなくなって、その中にとっても大事な物があつたら…持ち去った人はそんな大事な物とはわからないでしょう。でもなくなった子はどれほど悲しい思いをするでしょう。そして、「誰もとる人なんていない」と周りの人を信用していた優しい気持ちはどうなるでしょう。人を信用するということはとても素敵であたたかい思いです。そんな思いを裏切る行為は…かっこいいですか？楽しいですか？もし、万が一、誰かの物をとってしまった子がいたら、そのことを後悔して、いつかばれるんじゃないかと不安の日々を過ごしている子がいたら、先生でもお家の人でもいいので打ち明けてほしいと思います。これからの新しい日々を不安だらけで過ごしてほしくない。先生の正直な思いです。そして今回のことはこれからのこととして考えてほしいと思います。みんなで考えて、この旭ヶ丘小学校を、とっても安心できる、ぽっかぽかな学校にしていきたいです。